

読みたい聴きたい

福岡市内の書店『ブックスキューブリック』のオーナー・大井実さんに、毎回テーマに沿った本と音楽を紹介していただきます。ジャンルを超えて楽しめる作品にぜひ、触れてみてください。

撮影/スタジオパッション

ココロに、 ウツクシク

(本質は「シンプル」の中に)

物事を「シンプル」にすることは、
実は、一番難しいのかもしれない。



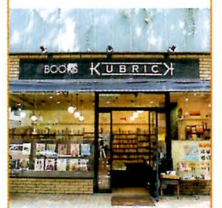
『ムナーリのことば』
ブルーノ・ムナーリ 著
阿部雅世 訳
平凡社
1,575円(税込)



『三月の水』
ジョアン・ジルベルト
ユニバーサル ミュージック
1,995円(税込)
UCCU-5052

■ 大井実さん

話題の一冊から普遍的な作品までを揃える福岡市内の書店『ブックスキューブリック』のオーナー。東区箱崎にある箱崎店では、オリジナルブレンドコーヒーやスイーツ、ベーグルなどが楽しめます。ブックスキューブリック 福岡市中央区赤坂2-1-12 ネオグランデ赤坂1階 ☎092-711-1180 <http://www.bookskubrick.jp>



グラフィックのデザインをはじめ、絵本や知育玩具の製作を手掛ける。ある時は、彫刻作品を作り上げる。いわゆる「商業デザイナー」と「芸術」の世界を縦横無尽に行き来していた不思議な天才に、イタリヤのブルーノ・ムナーリがいます。『ムナーリのことば』は、そんな彼のデザインに対する考え方や、身の周りにあふれる自然や社会への想いが綴られたエッセイ集です。

生前ムナーリは、私たちが当たり前だと思いがちな暮らしの概念を転換させてくれる言葉を残してくれました。その中で、私の好きな彼の言葉をいくつかご紹介すると、「。」「簡素化は、知性の証である」。物事に情報を加えて複雑にすることは簡単だけれども、本質を残してシンプルにする作業は極めて難しいと伝えるこの一節は、デザイン上、無駄なものを一切そぎ落としたムナーリの仕事そのものを表しているかのよう。また、デザイナーである彼は、言葉からビジュアルが浮かんでくるような一言も、「木 それは たつたひとつの種のゆっくりとした爆発」。この言葉を聞くと、木々が

成長する様子を早送りで見ているような感覚になります。その他、芸術を素直に楽しむ心や、大人になっても好奇心を持ち続ける必要性などについても説いています。一見くだらないことにこだわっている子どものような純真な心を持つ彼は、デザイナーでもあり、偉大なる哲学者。秋の夜長に心を落ち着けて、一節、一節の間を楽しみながら読んでください。

そして今回の音楽は、ジョアン・ジルベルトの一枚。彼はボサノバというジャンルを生み出した創始者の一人と言われ、ささやくような歌声を持つボーカリストです。演奏がギター一本とドラムだけというシンプルな構成のこのアルバムは、音の数が少ないのに、ボサノバの本質と心地よさを残した豊かな世界が広がっています。まさに引き算の美で創造された音楽であり、聴けば聴くほど味わいと奥深さが増してくるはず。私のオススメは、2曲目の『União』。ジョアンらしい歌声で『ウンディウ』とつづいているだけの曲なのですが、この音が体にしっとり馴染んで、穏やかな気持ちになれます。